

日永の追分

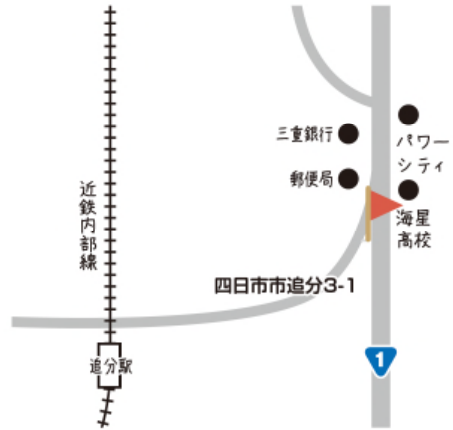


伊勢神宮御遷宮記念写真



昨年、87年ぶりに「お木曳き行事」が行われた日永の追分

追分とは道が二つに分かれるところで、日永の追分は、京に向かう東海道と伊勢に向かう伊勢街道の分岐点にあたり、東海道五十三次の四十三番目の宿場として栄えました。ここには桑名の一の鳥居に対する二の鳥居が建てられました。四日市を描いた浮世絵には、この鳥居を中心にした追分の風景がしばしば表れます。鳥居は、安永三年(1774)に奉獻され、その後たびたび建て替えが行われてきました。昨年のお木曳き・建て替えは、内宮の別宮・伊雑宮(いざわのみや)の古材を譲り受け、現在の鳥居は十代目にあたります。当初は伊勢街道をまたぐように立っていましたが、現在は伊勢街道が鳥居の横に新しくできたため、鳥居をくぐらずに進めるようになり、先の移建時に周りが公園化されました。



昭和4年 お木曳き行事の様子



平成28年 87年ぶりのお木曳き行事の様子



昭和50年 鳥居(九代目)の建て替えの様子

